

# 防災とボランティア週間

## 家庭で防災対策の確認を

1/15(金)~21(木)

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災において、ボランティア活動や住民の自発的な活動により、多くの方が救助されました。これ以降、災害時におけるボランティア活動の重要性が再認識され、毎年1月17日が「防災とボランティアの日」、1月15日、21日が「防災とボランティア週間」と定められています。

この機会にぜひ各家庭の防災対策をご確認ください。

### 必ず家具の転倒防止を

阪神・淡路大震災犠牲者の大部分は、住宅の倒壊や家具転倒による圧死、窒息死でした。家具等の転倒防止は比較的簡単にできる防災対策です。

区では家具転倒防止器具等防災用品のあっせんも行っていきます。ぜひご利用ください。

### 防災課防災計画係

☎(3647)9584  
FAX(3647)8440

### 「高齢者・障害者のみの世帯に家具転倒防止器具を設置」

また、区では、65歳以上の高齢者のみの世帯、または身体障害者手帳1級・2級、愛の手帳1度、3度の方のいる世帯(障害者のみの世帯、または同居の家族が65歳以上の世帯)に家具転倒防止器具の設置を無料で行っていきます(1世帯3点まで1回限り。すでに当事業を利用し、

設置済の方は対象となりません)。該当される方はお問い合わせください。

「高齢の方」介護保険課在宅支援係  
☎(3647)4319  
FAX(3647)9466

または最寄りの各長寿サポートセンター  
「障害のある方」障害者支援課身体障害相談係  
☎(3647)4953  
FAX(3647)4910

愛の手帳相談係  
☎(3647)4954  
FAX(3647)4910

### 災害時の備蓄を行いましょ

区で行っている食料備蓄は災害時に避難所で生活せざるを得ない方15万2千人(想定)の1日分(3食分)のみであり、飲料水に関しては区内給水拠点や拠点避難所の受水槽の水を活用することになっています。

家庭では最低でも3日分、できれば1週間分の水・食料を備蓄しましょう。また、災害時や急な停電等でトイレが使用できなくなった時のための携帯トイレ、衛生用品、その他生活必需品の備蓄についても平常時から検討しておきましょう。

### 災害協力隊の結成・加入を

災害協力隊は、各町会・自治会やマンションごとの管理組合

等を中心に地域の住民が互いに助け合い、組織的に行動して被害を最小限に抑えるため結成されている自主防災組織で、約320隊が活動しています。

区では、災害協力隊を育成し、技術の向上を図るため、さまざまな支援を行っています。集合住宅等で災害協力隊が結成されていない場合は、地域の災害協力隊への参加や、新たな災害協力隊の結成をご検討ください。

「我が家ルール」の取り決めを  
災害はいつ起こるかわかりません。発生時に家族が別々の場所にいる場合や発生により離れなければならないことも考えられます。お互いにどう連絡を取り、どのような経路で避難し、どこで落ち合うのかを家庭内で決めておくことが重要です。電話やメールがつながりにくくなることを考慮して下の欄外に記載の「災害用伝言ダイヤル(171)」の利用方法を覚えておきましょう。

また、避難所に人が多く集まることで新型コロナウイルスなどの感染症が拡大するリスクがあります。避難とは「難」を「避」けることであり、安全な場所にいる人は避難所へ行く必要はありません。自宅で安全が確保できる場合は在宅での避難をする、もしくは知人や親戚宅への避難をするといった、さまざまな災害時の避難方法を検討しておきましょう。

区では、避難所や避難場所の位置・災害時の心得・非常持出品リストなどを掲載した防災マップ(区内全図版1種類、各地区版5種類、外国語版3種類)を配布しています。

「防災マップ配布場所」こうとう情報ステーション(区役所2階)、防災課(区役所隣防災センター4階)、豊洲特別出張所・各出張所、各図書館※区ホームページにも掲載しています

東京消防庁災害時支援ボランティア募集  
東京消防庁では、震災時等に消防活動の支援を行う登録制のボランティアを募集しています。活動には、消防署への事前登録が必要です。詳細は最寄りの消防署へお問い合わせください。

「深川消防署(木場3-18-10)」  
☎(3642)0119  
FAX(3641)4422

「城東消防署(亀戸6-42-19)」  
☎(3637)0119  
FAX(3683)5380

「防災備蓄用ラジオを配布中」  
昨年3月1日時点で本区に住民登録している世帯を対象に、

「地球温暖化防止設備に助成金の活用を」  
省エネ機器等設備経費の一部を助成

区では、個人住宅・集合住宅および事業所を対象に、地球温暖化防止に貢献するCO<sub>2</sub>排出削減効果の大きい、創エネ・省エネ設備の設置について、経費の一部を助成しています。



▲防災備蓄用ラジオ

防災備蓄用ラジオ「こうとう安心ラジオ885」を配布しています。昨年7月から12月までの期間に、配布対象となっているすべての区民の皆さんに配達業者がお届けに伺いましたが、不在や区内転居等により受け取れていない方は次のお問い合わせ窓口にご連絡のうえ、再配達をご依頼ください。なお、再配達のご依頼は3月12日(金)まで、配達は3月31日(水)まで対応しています。4月以降は対応できませんので、早めにご連絡ください。

「防災備蓄用ラジオお問合せ窓口」  
☎0120(131)662  
FAX(6682)4103

「受付時間」午前9時~午後5時(土・日曜、祝日を除く)  
☎koto-radio885@y-cs.co.jp

# 国民健康保険の届出

## 加入・喪失の手続きを忘れずに

就職や扶養認定で職場の健康保険に加入したときは、国民健康保険をやめる届出が必要です。原則、お勤め先の会社が届出を代行することはありません。また、退職などで会社の健康保険をやめた方や、次に該当する方は国民健康保険の加入対象となります。お手続きが済んでいない方は、早急に届出をしてください。

「現在無職で、他の健康保険の被扶養者や任意継続に該当しない方」  
○個人経営の事業主とそこに勤めの方で、他の健康保険に加入していない方  
○医療保険課資格賦課係  
☎(3647)3167  
FAX(3647)8443

「加入・喪失の手続きを忘れずに」  
就職や扶養認定で職場の健康保険に加入したときは、国民健康保険をやめる届出が必要です。原則、お勤め先の会社が届出を代行することはありません。また、退職などで会社の健康保険をやめた方や、次に該当する方は国民健康保険の加入対象となります。お手続きが済んでいない方は、早急に届出をしてください。

### 対象設備および助成金額一覧表

助成対象設備	助成金額 ( )内は上限額	
	【住宅用】	【事業所用】
太陽光発電システム	太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値1kW当たり5万円(20万円まで、集合住宅は150万円まで)	太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値1kW当たり5万円(20万円まで)
CO <sub>2</sub> 冷媒ヒートポンプ給湯機(エコキュート) 燃料電池装置(エネファーム) エネルギー管理システム機器(HEMS・MEMS) 蓄電池	(1設備当たり4万円まで) ※個人住宅のみ	(1設備当たり8万円まで)
	(1設備当たり10万円まで) ※個人住宅のみ	(1設備当たり20万円まで)
	(1設備あたり2万円まで、集合住宅は15万円まで)	(1設備当たり4万円まで)
	(1設備あたり10万円まで、集合住宅は50万円まで)	(1設備当たり10万円まで)
高断熱窓(既築のみ)	(1件あたり10万円まで、集合住宅は100万円まで)	設置に要する経費の10%
LED照明(既築のみ)	(1件あたり50万円まで) ※集合住宅(共用部分)のみ	-
高反射率塗装	施工面積1m <sup>2</sup> (平方メートル)あたり1,000円を乗じた額 助成額=1,000円×施工面積(m <sup>2</sup> )(20万円まで、集合住宅は150万円まで)	施工面積1m <sup>2</sup> (平方メートル)あたり1,000円を乗じた額 助成額=1,000円×施工面積(m <sup>2</sup> )(20万円まで)
次世代自動車(電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車)	一律 10万円 ※個人での申請のみ受付可能	-

助成要件・助成金額、申請の際の必要書類等詳細は、区ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

☎(3647)6124  
FAX(5617)5737

災害時の情報確認・連絡方法

災害時の正しい情報入手や、家族との連絡方法を確認しておきましょう。地震発生時には、多くの方が一斉に電話をかけ、かかりづらくなります。安否確認や集合場所の連絡のため、災害用伝言ダイヤルの利用方法を覚えておきましょう。

災害用伝言ダイヤル

被災地の方の自宅などの番号を市外局番からダイヤル

録音方法 171-1-XXXX-XXXX  
再生方法 171-2-XXXX-XXXX